

## 幼保施設の将来像

### 明確に示せ

Q 国方議員 幼稚園、保育所の今後の計画はどのようになっていくのか。また、社会福祉法人の運営による保育所をつくる考えはあるか。

A ことも未来部長 改築計画が現在ある公立保育所は城辰保育所で、用地購入後、平成30年度の完成を目指している。本市では市こども未来計画に基づき就学前教育、保育施設の整備などを進めているが、平成27年度からの5年間の保育所、幼稚園の方向性は、公立6施設の認定こども園化と1施設の統廃合としている。また、公立保育所の民営化は運営手段の一つとして今後とも継続して検討しなければならぬと認識している。

## 大規模工事 工期重複解消を

Q 内田議員 大規模な工事が重複した場合、住民への影響や交通渋滞などが予想される。あらかじめ時期を調整する手立ては

ないのか伺う。

A 都市整備部長 市道区域内の工事については、毎年、電気、水道、ガス、下水道関係者が集まる占用者会議で3年間の工事予定について情報を交換し、調整しているが、市道区域外の工事については、建設課単独での情報把握は難しい。

しかし一方、市の環境安全課、都市計画課、産業振興課など各課に情報が届いていることもあるため、庁内関係課で情報を交換することにより、事務を改善したい。

## 選挙用掲示板に QRコード掲載を

Q 神田議員 投票率向上のため、コストがさほど掛からず、実際に取り組んでいる先進自治体もある選挙ポスター掲示板へのQRコード掲載について、市の考えは。

A 総務部長 6月定例会で、厳格な公正さが求められる公職選挙という性格上、総合的な観点でなお検討が必要と答弁した。そこで、議員の実験結果を受けて設置業者と再協議したが、読

み取りエラーの可能性は否めず、すべてを保証することは難しいとのことであった。しかし、公正さを確保しつつ比較的安価な手法が提案され、また別の方法もないか、引き続き検証したうえで、次回以降の選挙で試行的に掲載したい。

## 国民健康保険 減免措置拡大を

Q 中谷議員 高すぎる国保税改善策として、①国保税を支払うと生活保護基準以下になる境界層世帯に介護保険制度と同様の救済制度を設けること②廃業や病気など災害以外の理由でも所得が激減した場合に減免措置を講ずることを求める。

A 健康福祉部長 ①本市国保財政のひっ迫した状況と、国保非加入者との公平性から、新たな軽減措置の市独自導入は、現時点では困難である。②国や県の財源手当てのある減免措置は、すでに行っており、財源手当てのない、本市独自の減免を拡充することは、さらなる国保財政の悪化につながるため、現時点では考えていない。

## 編集 後記

「繫げよう！藩校の人づくりを地方創生に」をテーマに、11月26日に第14回全国藩校サミット丸亀大会が四国で初めて丸亀市で開催される。

この「人づくり」のあり方について考えたとき、NHK連続テレビ小説「あさが来た」の主題歌「365日の紙飛行機」が頭に流れた。その曲には「その距離を競うより、どう飛んだか、どこを飛んだのか、それが一番大切なんだ」という歌詞がある。

他者との違いを気にするよりも自身が世のために、さらには未来を見据え、どのような生き方を選び、どのように歩むのか。そのような選択や精神力を育てる人づくりが問われているのではないだろうか。

このことを地方創生、すなわち「丸亀創生」に置き換えたとき、「丸亀のために何ができるのか、どう取り組むのか」となり、その答えは人それぞれだろうし、その中身に大小はない。

その輪が広がり、重なり合っていくけば、きっと丸亀創生が進むだろう。

広報広聴副委員長 水本徹雄

## 総務委員会

7月  
25~27日

横浜市  
川口オート  
鈴鹿市

### 地域防災拠点 開設・運営マニュアル

横浜市は平成25年に「地域防災拠点開設・運営マニュアル」を作成し、地震発生から72時間までを目安に運営委員の方々と避難者の方々が一体となって防災拠点を開設・運営していくことを学びました。

●避難所運営は、運営委員だけががんばり過ぎないように！  
●避難所の生活は避難者全員が協力することが大事です。



マニュアルDVDを見る

また、マニュアルは冊子とデータCD、映像化したDVDを配布しつつ、市ホームページやYouTubeにもアップし、誰もが見られるようにしています。映像化は、イメージがつかみやすく人材育成に大いに役立つのではないかと感じました。

### 女性活躍推進事業

鈴鹿市は、企業、団体などを構成員とする会議を立ち上げ、男女共同参画に関する情報共有や研修会、人材育成セミナーの開催など、官学民が一体となって取り組んでいます。

本市の男女共同参画社会実現にとって、参考となる施策と施設でした。



男女共同参画センター

## 都市経済委員会

7月  
20~22日

交野市  
和歌山市  
高山市

常任委員会視察

浄水場制御室



### 星の里浄水場

老朽化のため平成24年に建て替えられた「星の里浄水場」は、生物接触2層ろ過+急速ろ過方式を採用し、安全性を担保しつつコストを1/4以下へと縮小していました。本市とは条件が異なりますが、浄水場のあり方の参考となりました。

### 遊休不動産再生活活用 リノベーションスクール

多くの街が遊休不動産の増加や若者流出などの課題に直面しています。和歌山市では対策と

してリノベーションスクールを開いており、対象案件で経営者から経緯や現状を伺いました。本市でもこれから取り組む施策であり、大きな学びとなりました。

### 観光振興施策

高山市でインバウンド施策を学びました。行政も様々な取り組みを行っていたのですが、何よりも市内業者（民間）の力や、通行人や交通マナーなどは目を見張るものがあり、市民一人ひとりの「おもてなし」の姿勢が根幹に必要であることを改めて実感しました。



リノベーションされた店内

# 教育民生委員会

7月  
25～27日

日野市  
習志野市  
墨田区

## 日野市の自殺対策

命の大切さを共に考え、支えあう地域社会の実現のために、あらゆる人や事業者が取り組む自殺総合対策推進条例を制定した日野市。具体的な自殺対策を推進する基本計画などについて学びました。

本市でも自殺対策に向けて議論を深めてまいります。



日野市での研修

## 習志野版ネウボラ

妊娠、出産から子育て期まで切れ目なく支援するネウボラ制度における具体的内容（ポピュ

レーションプラン、オリジナル母子カルテなどの各種様式、モデル支援プランなど）について学びました。  
今後の丸亀市の子育て支援につなげてまいります。

## 墨田区の教育現場ICT化

授業でのタブレット端末活用を進めている墨田区で、その効果などを学んできました。タブレットやデメリットなどを検証したうえで、本市でも教育現場のさらなるICT化について検討してまいります。



墨田区での研修

# 生活環境委員会

7月  
25～27日

立川市  
横須賀市  
磐田市

## 自治会加入促進

立川市全体の自治会加入率は43・83%と高くありませんが、大山自治会（会員数1600世帯、4000人）は加入率100%です。同自治会は住民すべての名簿を作成し、全世帯対象に傷害保険へ加入し、安心して自治会活動が行えるようにしています。高齢者や障害者のネットワークづくり、子育て支援センターの運営など様々な取り組みの中で高齢者事業団を設立し、有料駐車場の管理運営を行うなど高齢者の仕事の創出につなげています。このような取り組みには人材力が非常に重要であることを痛感しました。

## 空き家対策

特別措置法に基づき所有者不明の空き家を除却した横須賀市は、住まい活用相談対応や子育てファミリー等応援住宅バンク、学生シェア居住助成など空き家の利活用を進めています。

## 活発な消防団活動



消防本部と消防団の連携がテーマ

磐田市消防団員の平均年齢は31歳、入団期間は5年とし、その後の継続、退団は自由だそうです。また、地震を想定した自助・共助の考えのもと、自治会との合同訓練を定期的実施しています。災害発生時における地域住民と消防団の連携による対応能力は非常に高いと感じました。

常任委員会では市勢発展に資するため、先進事例を視察し、調査・検討を行っています。

# 丸亀市議会

# 議会報告会

共に考えよう！  
丸亀市のこれからを。

## 2016.11.15 火

午後6時30分から

同時刻  
3か所  
開催

※最寄りの会場にご来場ください。

ひまわりセンター  
4階ホール

郡家コミュニティ  
センター

飯山市民総合センター  
4階多目的ホール



主催 / 丸亀市議会

お問い合わせ先 / 丸亀市大手町二丁目3番1号 TEL0877-24-8826 FAX0877-24-8867  
E-mail:gikai@city.marugame.lg.jp